

鹿児島大学法文学部紀要
「人文学科論集」第66号(2007)別刷
2007年7月発行

「収入」依存選択的「交友」仮説・
「未セックス恋愛」と経済階層性
—現代学生「交友」(／交際)関係についての、探索的実証研究—

桜井芳生

「収入」依存選択的「交友」仮説・ 「未セックス恋愛」と経済階層性

—現代学生「交友」（/交際）関係についての、探索的実証研究—

桜井芳生

【要約】

日本の現代の若者は、どのような交友関係をもっているのだろうか？。本論文、文末の【文献】にあげたとおり、日本人の交友関係について実証的に分析した研究はないことはない。しかし、「友人」の「双方」からデータをとった調査はほとんど知られていない。われわれは、さまざまな問題意識の者との「あいのり」調査（オムニバス調査）ではあったが、現実の「いま交友している友人たち（同性）」同士からデータを採集することができた。いまだ「探索的」段階ではあるが、非常に興味深い知見をうることができた。おもに、二点指摘できる。

第一は、「友人同士」における「親の収入の類似」である。この現象を、「収入」依存選択的「交友」仮説と呼ぼう。われわれは、すでに、「恋愛中の兩人」からのデータ収集を行い、そこにおいて、一見似てはいるが、異なった現象を見いだしていた（桜井2006）。すなわち、「交際中の恋人同士」は、その双方の家計の「不動産の所有の有無」が類似していたのであった。この現象を、「資産」依存選択「交際」仮説と呼んだ。「交友」はおもに同性の友人関係を、「交際」は恋愛関係を示すとする。以上の「交友 \leftrightarrow 収入依存」「交際 \leftrightarrow 資産依存」の対照的關係は、非常に興味深い。

第二の知見は、「恋愛しているのに、性交渉をしていない」度合の、友人同士における類似である。少なくとも自己申告のアンケートから見る限り、恋愛をしていても性交渉していないカップルはある程度存在する。ただし、恋愛期間に依存するので、この恋人たちがずっとセックスレスであるとはがんがえるべきではない。友人たち同士は、この「恋愛しながらも未性交渉である」度合が、類似しているのである。ただし、この相関は、「年齢」で統制すると有意性をなくしてしまった。今後の大規模な調査が待たれる。この「恋愛しながらも未性交渉である」度合は、年齢以外にも、いくつかの変数から影響を受けている。もっとも注目されるのは、「経済的豊かさ」である。自己を「経済的に豊か」と感じている若者ほど、「恋愛しながらも未性交渉」である比率が高い。経済的格差の進行が云々される今日、この知見は非常に興味深い。

【イントロダクション】

日本の現代の若者は、どのような交友関係をもっているのだろうか？。本論文、文末の【文献】にあげたとおり、日本人の交友関係について実証的に分析した研究はないことはない。しかし、「友人」の「双方」からデータをとった調査はほとんど知られていない。われわれは、さまざまな問題意識の者との「あいのり」調査（オムニバス調査）ではあったが、現実の「いま交友している友人たち（同性）」同士からデータを採集することができた。いまだ「探索的」段階ではあるが、非常に興味深い知見をうることができた。おもに、二点指摘できる。

第一は、「親の年収」をめぐることであり、第二は、「恋愛しながらも未性交渉」である度合である。

【方法と対象】

2006年12月に、南九州のある国立大学法人の学生たちによって、周囲の学生を中心とする知人たちを対象にして、二段階スノーボール式非無作為抽出によるアンケート調査をおこなった。依頼数192ペア、回収数176ペア。回収率91.7%であった。

以下、分析するのは、第一回答者と第二回答者の「関係」（第二回答者による自己申告）が、「同性の友人」とこたえた、ダイアドデータのみである。彼らは60ペアであった。女同士ペア48ペア、男同士ペア12ペアであった。

第一回答者、第二回答者ともに、ほとんど同じアンケートに回答していた。

分析上、キーとなる設問（回答肢）ならびにその文言は以下のとおりである。

「あなた（第二回答者）と、第一回答者の方との、関係は何ですか。 de

↓

4. 恋人。 3. 同性の友人。 2. 異性の友人。 1. それ以外。」

「過去一年間のお宅（生計をともにしている家族）の収入は税込みで次の中のどれに近いですか。ほかのご家族の方の収入も含めてお答えください。 dd

- 1 （ア）なし
- 2 （イ）70万円未満
- 3 （ウ）100万円位（70～150万円未満）
- 4 （エ）200万円位（150～250万円未満）
- 5 （オ）300万円位（250～350万円未満）
- 6 （カ）400万円位（350～450万円未満）

- 「あなたは恋愛の経験はありますか？ 〇

4. はい。 3. いいえ」

4. はい。 3. いいえ」

約（ ）ヶ月。」

【結果】

すでに別稿（桜井2006）で、論じたように、現代日本若年層において、「恋人同士」は、「自分の家に不動産があるかないか」について、大きな類似（相関）をしている。すなわち、不動産を持つ者の同士/持たない者同士が恋愛交際（以下「交際」では異性間恋愛交際を指すこととする）している度合いが高いのである。

では、「友人」同士においては、同様な類似性（相関）はみいだすことはできないか。

まず、くだんの「不動産の有無」についてだが、これに関しては今回の調査によると、友人同士では、類似性はみいだせなかった。

下記において「I 不動産」は、被調査者本人の家庭における「不動産所有の有無」を、「I2不動産」は、その本人の「友人（同性）」の家庭における「不動産所有の有無」を、（ともに、それぞれ自己申告）あらわす。以下、同様に添えられた「数字2」は、「友人」の変数をあらわすことにする（下表）。①

相関係数

			I2 不動産
Kendall の τ_b	I 不動産	相関係数	-.153
		有意確率（両側）	.241
		N	60

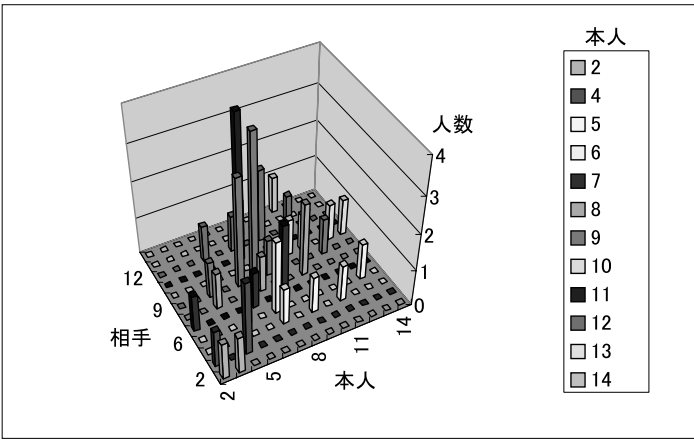
それにたいして、本人とその友人における、「家庭の収入」については、以下のように、かなり大きな類似性（相関）を示している（下表）。②

相関係数

			dd2 年収
Kendall のタウ b	dd 年収	相関係数	.305(**)
		有意確率（両側）	.007
		N	45

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

分布表を三次元グラフにしてみたのが、以下である。正の相関をしている
具合が分かるだろう（下グラフ）。③



「方法と対象」の章でのべたとおり，回答肢はカテゴリカルであったので，
念のため，カイ自乗検定にかけたみた。結果は，以下である（下表）。④

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率（両側）
Pearson のカイ 2 乗	167.745	132	.019
有効なケースの数	45		

それでは、家の年収以外で、友人同士類似している変数はないのだろうか。以下のいくつかの変数同士が類似していることがみいだされた。先述のとおり、変数名に「2」が付されているのが、「友人」の変数である（下図）。⑤

相関係数

			o 恋経験	o2 恋経験	p 性経験	p2 性経験	恋不性	恋不性2
Kendall の タウ b	o 恋経験	相関係数	1.000	.128	.324(*)	.191	.361(**)	-.047
		有意確率 (両側)	.	.332	.014	.152	.006	.720
		N	59	58	59	57	59	58
	o2 恋経験	相関係数	.128	1.000	.082	.240	.033	.449(**)
		有意確率 (両側)	.332	.	.534	.070	.806	.001
		N	58	59	58	58	58	59
	p 性経験	相関係数	.324(*)	.082	1.000	.467(**)	-.734(**)	-.325(*)
		有意確率 (両側)	.014	.534	.	.000	.000	.014
		N	59	58	59	57	59	58
	p2 性経験	相関係数	.191	.240	.467(**)	1.000	-.285(*)	-.706(**)
		有意確率 (両側)	.152	.070	.000	.	.033	.000
		N	57	58	57	58	57	58
	恋不性	相関係数	.361(**)	.033	-.734(**)	-.285(*)	1.000	.261(*)
		有意確率 (両側)	.006	.806	.000	.033	.	.048
		N	59	58	59	57	59	58
	恋不性2	相関係数	-.047	.449(**)	-.325(*)	-.706(**)	.261(*)	1.000
		有意確率 (両側)	.720	.001	.014	.000	.048	.
		N	58	59	58	58	58	59

* 相関は、5 % 水準で有意となります（両側）。

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

上記の「恋不性」「恋不性2」については説明が必要である。これは、分析者が回答から合成して作成した変数である。前章で述べたように、本調査においては、恋愛の経験と、性交渉の経験を聞いていた。この二つの変数か

ら「恋愛の経験はあっても、性交渉の経験がない」事例を検出することができる。この「恋愛をしていても性経験なし」かどうか、を二値で、コード化しなおしたのが「恋不性」「恋不性2」（2がつくのは、友人側の変数の意）である。

以上のように、友人間においては、「性経験」変数どうし、「恋不性（セックスレス恋愛） 験」変数どうしが強く相関している。⑥

ただし、「セックスレス恋愛」といっても、以下のように、現在の恋愛の期間の長さとは性経験とが強く相関している（⑦）ので、恋愛期間が近づけば性経験することが推測される。つまり、変数「恋不性」とは「恋をしつつセックスをしない」というよりは、「恋をしても、すぐにはセックスをしない」度合と解釈するべきだろう。

相関係数

			m 恋愛ヶ月
Kendall の τ_b	p 性経験	相関係数	.250(**)
		有意確率（両側）	.003
		N	103

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

では、どのような人が「未セックス恋愛」をしているのかをみてみよう。

以下は、「恋不性」と「本人」の他の変数とで、有意な相関したもの（と、「年収」）である。⑧

（以下、「本人」の分析は、ペア以外の回答者もふくめて、恋愛中の方すべてを分析している）

相関係数

			恋不性
Kendall の τ_b	恋不性	相関係数	1.000
		有意確率 (両側)	.
		N	181
	j 美人	相関係数	-.192(**)
		有意確率 (両側)	.004
		N	181
	aw 日傘	相関係数	.160(*)
		有意確率 (両側)	.020
		N	181
	cg 経済豊	相関係数	.139(*)
		有意確率 (両側)	.039
		N	180
	cj 感情起伏	相関係数	-.140(*)
		有意確率 (両側)	.035
		N	181
	cs4 女 3 男	相関係数	.159(*)
		有意確率 (両側)	.033
		N	181
	dd 年収	相関係数	.130
		有意確率 (両側)	.072
		N	140
	ax 年齢	相関係数	-.276(**)
		有意確率 (両側)	.000
		N	181

** 相関は, 1 % 水準で有意となります (両側)。

* 相関は, 5 % 水準で有意となります (両側)。

すなわち, 「恋不性」とは, (本人の) 「日傘使用」「経済的豊かさ」「性別 (女性)」 「年収 (ただし有意でない)」とが, 正の相関をしている。そして, 「美人 (自己申告)」「感情的起伏が激しい」「年齢」が, 負の相関をしている。⑨

ただし、相関分析のみでは、疑似相関かどうか不明である。そこで、本人の「恋不性」をターゲットとして、本人の以上の有意な諸変数をロジスティック回帰（変数減少法ステップワイズ）してみたのが、以下である。

ロジスティック回帰

処理したケースの要約

重み付けのないケース (a)		N	パーセント
選択されたケース	分析に使用	139	76.0
	欠損ケース	44	24.0
	合計	183	100.0
選択されなかったケース		0	.0
合計		183	100.0

モデルの要約

ステップ	-2 対数尤度	Cox & Snell R / *2 乗	Nagelkerke R 2 乗
1	132.967(a)	.158	.234
2	132.969(a)	.158	.234
3	133.081(a)	.157	.233

a パラメータ推定値の変化が .001 未満なので、反復回数 5 で推定が打ち切られました。

分類表(a)

			観測値	予測値		
			恋不性		正分類パーセント	
			1	4		
ステップ 1	恋不性	1	98	6	94.2	
		4	26	9	25.7	
		全体のパーセント			77.0	
ステップ 2	恋不性	1	98	6	94.2	
		4	26	9	25.7	
		全体のパーセント			77.0	
ステップ 3	恋不性	1	97	7	93.3	
		4	26	9	25.7	
		全体のパーセント			76.3	

a 分割値は .500 です

方程式中の変数

		B	標準誤差	Wald	自由度	有意確率	Exp (B)
ステップ 1(a)	j 美人	-.354	.183	3.739	1	.053	.702
	aw 日傘	.239	.130	3.351	1	.067	1.269
	cg 経済豊	.426	.207	4.242	1	.039	1.530
	cj 感情起伏	-.257	.152	2.852	1	.091	.773
	cs4 女 3 男	-.028	.610	.002	1	.963	.972
	dd 年収	.025	.074	.112	1	.738	1.025
	ax 年齢	-.379	.177	4.573	1	.032	.684
	定数	6.037	4.670	1.671	1	.196	418.499
ステップ 2(a)	j 美人	-.353	.182	3.754	1	.053	.703
	aw 日傘	.236	.116	4.156	1	.041	1.266
	cg 経済豊	.425	.206	4.243	1	.039	1.530
	cj 感情起伏	-.258	.152	2.884	1	.089	.773
	dd 年収	.025	.074	.113	1	.737	1.025
	ax 年齢	-.377	.172	4.825	1	.028	.686
	定数	5.897	3.570	2.728	1	.099	363.939
ステップ 3(a)	j 美人	-.348	.181	3.694	1	.055	.706
	aw 日傘	.241	.115	4.434	1	.035	1.273
	cg 経済豊	.454	.188	5.832	1	.016	1.575
	cj 感情起伏	-.257	.151	2.881	1	.090	.774
	ax 年齢	-.382	.171	4.965	1	.026	.683
	定数	6.053	3.540	2.924	1	.087	425.356

a ステップ 1: 投入された変数 j 美人, aw 日傘, cg 経済豊, cj 感情起伏, cs4女3男, dd 年収, ax 年齢

とくに上記のステップ 3 に注目してほしい。まず、「分類表」をみると、このステップ 3 によって、観測値の 76.3% が説明できることがわかる。「方程式中の変数」をみてみよう。サンプル数が少ないこともあって、5% 有意をクリアしていない独立変数もあるが、おおむね、上記の相関分析と同様、「日傘」「経済的豊さ」が正の効果を、「美人」「感情起伏」「年齢」が負の効果をおよぼしていることが読みとれる。⑩

以上は、「恋不性」と本人の諸変数との関連であった。では、友人（相手）との関連はどうか。「友人ペア」のケースだけにかぎって、本人の「恋不性」と「本人の諸変数」さらに「友人相手の恋不性」とともに、相関分析したの

が以下である。

相関係数

			恋不性
Kendall の τ_b	恋不性	相関係数	1.000
		有意確率（両側）	.
		N	59
	j 美人	相関係数	-.204
		有意確率（両側）	.085
		N	59
	aw 日傘	相関係数	.172
		有意確率（両側）	.153
		N	59
	cg 経済豊	相関係数	.280(*)
		有意確率（両側）	.019
		N	59
	cj 感情起伏	相関係数	-.119
		有意確率（両側）	.311
		N	59
	cs4 女 3 男	相関係数	.318(*)
		有意確率（両側）	.016
		N	59
	dd 年収	相関係数	.243(*)
		有意確率（両側）	.048
		N	50
	ax 年齢	相関係数	-.301(*)
		有意確率（両側）	.011
		N	59
	恋不性2	相関係数	.261(*)
		有意確率（両側）	.048
		N	58

* 相関は、5 % 水準で有意となります（両側）。

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

「本人」の「恋不性」と相関している「友人相手」の変数としては、「恋不性2」（数字の2は上記のように相手の変数であることを示す）しかみいだせなかった。以上のように、「自分自身の変数との相関関係」に匹敵するような強さで、「友人相手が、恋不性」であることが本人の「恋不性」と相関していることがみてとれる。⑪

この相関は、社会学的に非常に興味深いだろう。なぜなら、少なくとも一つには、いわゆる準拠集団メカニズムの存在を予想させるからである。すなわち、友人同士影響を与え合って、性経験の早晚が、類似している可能性がかんがえられるからだ。⑫

しかし、いうまでもなく、相関分析は疑似相関の嫌疑を忘れるべきでない。第三の変数が双方に影響をあたえて、見かけの相関を生み出しているかもしれない。そのようにかんがえてみて、いくつかの変数を統制変数として、偏相関をみてみた。すると,,,

相関係数

制御変数			恋不性2
ax 年齢	恋不性	相関	.156
		有意確率（両側）	.246
		df	55

以上は、本人の「年齢」変数を統制変数として、(本人の)「恋不性」と(友人相手の)「恋不性2」との相関をみてみたものである。わかとおり、有意性が消えている。⑬

* * *

さて、本研究は、「探索的」なものであるので、上記の知見以外にも、「当人」と「友人」との間で、興味深い相関がいつか見いだされたものを、報告しておこう。上記とならんで、変数名における「2」の数字は、友人相手の変数であることをしめす。

設問の文言は

「あなたは自分の両親のような異性と結婚したいと思いますか ab

↓

6. かなり, そう。 5. まあ, そう。 4. どちらかという, そう。
3. どちらかいうと, そうでない。 2. まあ, そうでない。 1. そう
でない。 」

で, あった。友人同士ほど, 同様に自分の両親のような異性と結婚したい/
したくない, と思っている。⑮

相関係数

			ah2 色白
Kendall のタウ b	ah 色白	相関係数	.386(**)
		有意確率 (両側)	.000
		N	59

** 相関は, 1 % 水準で有意となります (両側)。

設問の文言は,

「男女ともにかがいます。あなたは色が白いほうだと思いますか ah

↓

6. かなり, そう。 5. まあ, そう。 4. どちらかという, そう。
3. どちらかいうと, そうでない。 2. まあ, そうでない。 1. そう
でない。 」

で, あった。友人同士ほど, 色白である/色白でない, 傾向がある。⑯

相関係数

			ar2 もてたい
Kendall のタウ b	ar もてたい	相関係数	.297(**)
		有意確率（両側）	.005
		N	60

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

設問の文言は、

「あなたは異性にもてたいですか。 ar

↓

6. かなり、そう。 5. まあ、そう。 4. どちらかという、そう。
3. どちらかいうと、そうでない。 2. まあ、そうでない。 1. そう
でない。」

であった。友人同士ほど、異性にもてたい/そうおもわない、傾向がある。⑪

相関係数

			aw2 日傘
Kendall のタウ b	aw 日傘	相関係数	.451(**)
		有意確率（両側）	.000
		N	60

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

設問の文言は

「男女ともにかがいます。あなたは「日傘」をつかいますか。 aw

↓

6. かなり、そう。 5. まあ、そう。 4. どちらかという、そう。

3. どちらかというと、そうでない。 2. まあ、そうでない。 1. そうでない。
」

であった。友人同士ほど、日傘をつかう/つかわない、傾向がある。⑮

相関係数

			bf2 出世したい
Kendall のタウ b	bf 出世したい	相関係数	.284(**)
		有意確率 (両側)	.007
		N	60

** 相関は、1 % 水準で有意となります (両側)。

設問の文言は

「あなたは「出世」したいですか。 bf

↓

6. かなり、そう。 5. まあ、そう。 4. どちらかというと、そう。
3. どちらかというと、そうでない。 2. まあ、そうでない。 1. そうでない。
」

であった。友人同士ほど、出世したいとおもう/おもわない、傾向がある。⑯

相関係数

			bg2 配偶出世して
Kendall のタウ b	bg 配偶出世して	相関係数	.303(**)
		有意確率（両側）	.005
		N	59

** 相関は、1 % 水準で有意となります（両側）。

設問の文言は

「あなたは、もし結婚したとして、配偶者に「出世」してほしいですか。

bg

↓

6. かなり、そう。 5. まあ、そう。 4. どちらかという、そう。
3. どちらかいうと、そうでない。 2. まあ、そうでない。 1. そう
でない。 」

であった。友人同士ほど、配偶者に出世してほしいとおもう/おもわない、
傾向がある。②0

【議論と展望】

以上、今回のわれわれの調査から、とくに、日本現代若者の交友関係をめぐって、どのような知見をうることができたかを、みてみた。知見が散発的になったかとおもうが、探索的段階の研究であるがゆえに容赦してほしい。この段階では、どのような知見が重要であるのか、どのような変数とどのような変数がどのようなメカニズムで結びついているのか、についての先入観をなるべく含めずに、知見を知見として報告しておくべきと思うからだ。

ふりかえりつつ、まとめてみよう。

まず、われわれは、実際に交友している（同性）友人同士が、その家庭の収入にたいして、大きな類似（相関）をしていることをみいだした（②）。これを、「交友」の「収入」依存選択性」と呼ぼう。

いうまでもなく、「友人同士」に分析において、そこでみいだされた「類似している変数」の解釈においては、慎重さが必要である。なぜなら、「似ているから、交友しているのか（いわば「類トモ」効果）」「交友しているから、似たのか（いわば「友ルイ」効果）」が、相関だけではわからないからだ。

しかし、家庭の収入はこの点で興味深い。フルタイム就業をほとんどしていない学生たちにとって、「同じ友達集団に属したから、親の収入が似た」ということはほとんど考えにくいからだ（「友ルイ」効果のありそうのなさ）。すなわち、親の収入が似ている学生たちが交友関係をむすんでいるとかながえられる。いわゆる経済的格差が云々される今日注目に値する知見だと思われる。

また、先述したとおり、われわれの別の調査においては、「現在つきあっている恋人同士」が、その家計の不動産の所有に関して、大きく相関していた。しかし、不動産の所有にかんしては、「友人同士」では、同様の知見はみいだせなかった（①）。

つまり、「交友（同性） \longleftrightarrow 収入依存」「交際（恋愛） \longleftrightarrow 資産依存」、という対照的關係が存在したわけである。

つぎにわれわれは、家の年収以外で、友人同士類似している変数を探ってみた。まず、「性経験」と「恋愛しているのに、未だ性経験がない」ことが、友人同士で大きく相関していた（⑤⑥）。

では、どのような人が、恋愛しているのに未だ性経験がない（変数「恋不性」とよぶ）のか。それを、本人の他の変数から探ってみた。相関分析ならびに、ロジスティック回帰分析の結果から、「日傘使用」「経済的豊かさ」「性別」が正の影響を、「美人」「感情に起伏」「年齢」が負の影響をあたえていることがわかった（⑨⑩）。

経済的格差の視点からは、「経済的豊かさ」が、「恋不性」に正の影響をあたえていることが注目されよう。

また、友人が「恋不性」であることが、本人の「恋不性」とどれほど相関しているかを確認すると、それは、本人の上記の諸変数と同程度の相関をしていることがたしかめられた（⑪）。

ここから、「恋不性」は、「友ルイ」効果（交友集団に帰属するが故に、その集団に影響される効果、一種の準拠集団効果）が、推測される。しかし、偏相関分析をしてみると、年齢を統制すると、友人間の「恋不性」の相関は有意性を失う（⑬）。ただし、相関が無になるわけではない。さらに、大規模の調査が望まれるだろう。

上記の変数以外にも、「ネット利用時間（⑭）」「色白（⑮）」「もてたい（⑰）」「日傘使用（⑱）」「出世したい（⑲）」「配偶者に出世してほしい（⑳）」の変数において、友人同士の相関が見いだされた。

繰り返すが、これらの知見は、探索的探求においてみいだされたもので、必要以上の思弁は自制したい。しかし、これらの諸知見にもとづいて、さまざまな中範囲の仮説を発想し、さらにそれを、確証的な検証にかけてみたい。以上を今後の展望とするとともに、より大規模な調査へのコラボレーションを訴えたい。

【文献】

藤田 英典,伊藤 茂樹,坂口 里佳1996「小・中学生の友人関係とアイデンティティに関する研究：全国9都県での質問紙調査の結果より」『東京大学大学院教育学研究科紀要』Vol.36 東京大学

古谷 嘉一郎,坂田 桐子2006「対面,携帯電話,携帯メールでのコミュニケーションが友人との関係維持に及ぼす効果：コミュニケーションのメディアと内容の適合性に注目して」

『社会心理学研究』 Vol.22, No.1 日本社会心理学会

水野 邦夫2003「恋愛・友人関係観の性差に関する研究」『聖泉論叢』 Vol.10聖泉大学

中村 雅彦1990「大学生の友人関係の発展過程に関する研究：関係関与性を予測する社会的交換モデルの比較検討」『社会心理学研究』 Vol.5, No.1日本社会心理学会

桜井芳生2006「「資産依存非対称的選択交際」仮説」(投稿中)

<http://homepage3.nifty.com/sakuraiyoshio/shisannizon.pdf>

田代 逸人 1996「大学生の友人ネットワークと「地方都市」」『社会調査実習報告書』 Vol.7 鹿児島国際大学

外山 美樹 2002「大学生の親密な関係性におけるポジティブ・イリュージョン」『社会心理学研究』 Vol.18 日本社会心理学会

山中 一英 1998「大学生の友人関係の親密化過程に関する事例分析的研究」『社会心理学研究』 Vol.13, No.2日本社会心理学会

山内 祐司 2004「学校の問題行動抑制機能：ボンド理論の再構成と実証の試み」『犯罪社会学研究』 No.29日本犯罪社会学会

和田 実 1993「同性友人関係：その性および性役割タイプによる差異」『社会心理学研究』 Vol.8, No.2日本社会心理学会

【謝辞】

アンケートに答えてくださった皆様,ともに調査をしてくださった皆さん,に深く感謝します。

さくurai よしお sakurai.yoshio@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/sakuraiyoshio/>